

一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議(令和4年度 第1回)  
書面会議結果(要旨)

議題1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む事業の進捗状況等について

意見概要と事務局(政策課)回答は下記のとおり

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	意見概要	事務局回答	
全般	資料2の「主な事業」に対して、完了、継続、追加が分かるようにするとよいのでは。	実績報告として、当該年度に実施した事業のみを掲載していたが、ご指摘いただいたように、次回からは、完了事業についても参考として掲載し、事業の完了、継続、追加が分かるようにしていきたい。	
全般	新型コロナウイルス感染症の戦略及び目標・KPIの進捗への影響についてまとめてみてはどうか。現時点で終息点は見えていないと思うが、これまでにコロナの影響で各事業が成果を出せていない、KPIに影響が出るとなると戦略そのものの意義に係わるのではないかと。大きな影響はないということも含めて進捗の検証には必要な情報だと思う。	事務局として検討の結果、目標値や事業については、数字の変化が新型コロナウイルス感染症による影響のみなのか、他の要因の影響は無かったかの判別ができないことなどを考慮し、変更しないこととしている。コロナ終息の見通しが立たない状況であるため、各事業に対するコロナの影響については、各担当にて検証し、今後の事業実施に反映させていきたい。	
基本 目標 1「希望」	資料2の1ページ「①結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援」	全国的に少子化が進んでいるため、行政による男女の出会いの場を作って欲しい。最近では以前のように結婚の世話焼きをする方もいなくなり、出会いの機会も少なくなった。男女共に結婚に対する意識が以前ほどなく、特にキャリアウーマンが増え、女性の地位向上により一生独身という方も多くなったと感じる。	出会いの支援としては、青少年文化教室において、婚活のきっかけとなるセミナーや交流会等を開催している。婚活体験型セミナー「ichi恋／交流会」として令和3年度は年2回開催し、今年度も継続して実施している。今後も結婚に関する支援事業を継続して実施していきたい。
	資料2の2ページ「結婚新生活支援事業」	結婚新生活支援補助金は市制施行100周年記念事業として、1年限定で実施されたが、申請の実績を知りたい。当該事業に対する国の補助金があるのであれば、少子化対策の一環として補助上限を上げてでも継続的に実施をして、地域が新婚世帯を支援するべきだと思う。	令和3年度の実績としては、58世帯に補助金を交付した。ご意見のとおり、100周年を記念し1年限定事業として、300世帯の申請を想定し国の交付金(補助率1/2)を活用し実施した。結果、見込みを下回る申請件数となったこともあり、今のところ継続実施は計画していない。しかしながら、国の交付金を活用した効果的な事業については検討し、今後も少子化対策に取り組んでいきたい。
	資料2の2ページ「子育て支援アプリのダウンロード数」	コロナの影響で母親教室などもオンラインで行われているところもあると聞いた。妊娠生活や子育てで母親が孤立しないためにも子育て支援のアプリを充実させて欲しい。今の世の中、TVや新聞よりも携帯からの方が知りたい情報が受け取りやすいと思う。	子育て支援アプリのダウンロード数が年々増えてきていることから、ご指摘のとおり携帯を利用したアプリなどの需要が高まっていることが分かる。コロナの影響だけでなく、今後はオンラインの活用やアプリの充実を積極的に進めていきたい。
	資料2の2ページ「子育て支援アプリのダウンロード数」	順調に上昇していると思われ、電子化の影響でアプリが使いやすくなっているので、目標値をもう少し上げてよいと考える。	KPIは、総合戦略策定時からの進み具合を見るために設定しているため、目標値の変更はしないこととしているが、ご指摘のとおり、アプリのダウンロード数の上昇等の実態を勘案し、今後の事業実施に活かしていきたい。
	資料2の2ページ「②安心して子どもを預けられる環境の整備」	保育園、児童クラブの充実を図り、安心して働ける社会を作ることが必要。	引き続き、保育園、放課後児童クラブの充実に努める。
	資料2の3ページ「放課後児童クラブの待機児童数」	(感想として)目標を前倒しし、ゼロを達成しているのは評価できる。このままゼロを維持・継続されたい。	引き続き、待機児童ゼロを継続できるよう努める。
	資料2の5ページ「男性育児休業取得率」	基準値から、なぜ令和2年度は下がって令和3年度は倍くらいになったのか。社会全体で育児休業を取りやすい環境にして欲しい。	ご質問の取得率の変動については、男性育児休業の場合、取得者数が女性に比べ、かなり少ないため、僅かな人数の違いであっても取得率に大きく影響することも要因であると思われる。また、育児休業の取得に関して、まずは市が一事業所として、市内の事業所等のモデルとなるよう、多様な働き方や男女がともに育児休業・介護休暇等を取得できる環境づくりを積極的に行い、率先してワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる。

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	意見概要	事務局回答
資料2の7ページ「社会増減」	令和3年単年での社会増減(特に社会減)の理由をどう考えているか、今後の見通しはどうか。	令和元年までと比較して、令和2年、3年と転入者数が減少しており、なかでも外国人住民の転入者数が令和3年は令和元年の半数以下となっている。時期から考えて、新型コロナウイルス感染症による、海外からの入国制限が主に影響していると思われる。日本人も同様に転入者が減少しているが、コロナのみが原因とは言い切れず検証が必要。近年、一宮市では外国人住民が増加傾向にあったため、入国制限等の影響が無くなれば、今後は外国人住民が再び増加していくと思われる。
資料2の7ページ「社会増減」	(感想として)「社会増減」の数値が令和3年度は大きく減少している。単にコロナだけを理由にしてよいのでしょうか。街としての魅力(調和)づくりの方向性は間違っていないのかを検証してみてもよいのでは。	ご指摘のとおり、コロナに限らず理由は様々であると考えられるため、今後の検証の際の参考にさせていただきます。
資料2の8ページ「木曾川沿線遊歩道・自動車道整備事業」	(感想として) 「国との協議で一旦工事休止」となっており、整備延長も伸びていない。「調和」にぴったりの事業と考えられるため、是非進めていただきたい。	ご意見として参考にさせていただきます。
資料2の9ページ「健康維持に取り組んでいる人の割合」	健康維持に取り組んでいる人が多いため、目標値を上げてよいのではないかと。「健康維持に取り組む」があいまいでよく分からないため、定義を知りたい。	ご指摘のKPIは、毎年実施している市民アンケート調査の中で「あなたは、健康維持のために何か取り組んでいますか」の設問で、「はい」と答えた人の割合であり、「健康維持に取り組む」については、答えた方の主観に基づくものとなる。KPIは、総合戦略策定時からの進み具合を見るために設定しているため、目標値の変更はしないこととしているが、健康維持に取り組んでいる人が多くいるという実態を勘案し、今後の事業実施に活かしていきたい。
資料2の10ページ「貯筋教室の参加者数」	目標値を大きく下回る結果であることが目立つ。動画配信もされているので、対面だけでなく、動画の視聴回数もカウントしてもよいのではないかと。しかしながら、視聴回数はまだまだ少ないので、別の媒体の活用も検討が必要だと感じる。高齢者の中にはデジタル機器を使いこなしている方も多い反面、デジタルに対応できていない方もいると思うので、ケーブルテレビなどで放送して、広くPRしてはどうか。	「皆と一緒にからだを動かす」ことを目的としており、新型コロナウイルス感染症のリスクが高いため、中止・縮小せざるを得ない状況であった。ご意見のとおり、動画を配信するなど、事業の効果を上げるための工夫もしているところであるため、事業の実施方法やPR方法等、今後の参考にさせていただきます。
資料2の10ページ「一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出」	(感想として) 「建築規制緩和による建築」案件が実績として1件でも挙がっているのは評価できる。ただし一宮駅周辺地区居住人口にあっては、減少傾向の歯止めがかかっていないのが残念。	ご意見として参考にさせていただきます。
資料2の12、13ページ「①魅力ある集客イベントの開催」、「②市の魅力・知名度の向上」	七夕まつりは、もっと目新しさを取り入れるべきである。138タワーパークは屋外であり、コロナ禍でも安心なため、イベントをもっと増やすとよいと思う。昨年100周年記念事業として開催された「NHKどこの自慢」は、138タワーパークの野外ステージで行われ、市外からの参加者も多かったと認識している。	事業実施担当課とご意見を共有し、今後の参考にさせていただきます。
資料2の13ページ「138タワーパークイベント入園者数」	入園者数の増減が目立ち、安定していない。このイベントに限らず、イベント全般に力を入れて欲しい。	入園者数の推移が安定していない理由は、令和元年度の途中から、コロナ禍の影響を受け、休館、イベントの中止・縮小などにより入園者数が減少したが、令和3年度は、コロナ対策を講じた上でイベントを実施、また市制施行100周年に関連したイベントも実施したため前年度より増加している。今後はウィズコロナも見据え、イベント全般について、工夫を凝らした実施に努める。
資料2の15ページ「いちのみや応援寄附金の寄附件数」	(感想として) 寄附件数の大幅な伸びは、その取り組みを大いに評価したい。	ご意見として参考にさせていただきます。